

みんなの防災 GSS (Global Safety Supporter)

高松市 まちのデータ研究室：防災チーム



- ・災害時の避難場所を知らない人が多い。
- ・外国人の中には、テレビで放送される「避難」という意味が分からない場合がある。
- ・災害の状況を文字での通知だけでなくより詳しくわかるようにしたい。

世界中の誰でも分かるように情報を可視化できるアプリで避難をより迅速にする

・実装させたい内容 1
ピクトグラムを活用して、世界中の誰が見ても理解できるように情報を捉えやすくする

・実装させたい内容 2
土地勘がない人でもすぐに避難できるように GPS を利用して、現在地から避難所までの避難経路を示す

・実装させたい内容 3
IoT センサーを利用して避難所の混雑具合、スマートメータによる電気の使用の可否などをピクトグラムを用いて可視化

・実装させたい内容 4
利用可能な交通手段や災害の規模や状態を外部サイトより取得し可視化

利用可能なデータ

- ・高松市が公開している「指定緊急避難場所・指定避難所」194 か所の名称・緯度・経度データ

不足しているデータ

- ・各避難場所の収容人数、備蓄資材データ

イメージ図



図 1



図 2



図 3

このアプリケーションでは、図 1 のトップ画面で、緊急時以外でも利用しやすくするために観光・交通・防災の三つから選択できるようにしようと考えました。今回は、防災を選択することで図 2 のように災害に応じたアイコンが表示され、選択した項目によって、図 3 のように現在位置からの災害状況を可視化できるようにしたいと考えました。また、図 3 では、使用可能な交通状況、水量、電気使用の可否、避難所での備蓄量と許容人数などの状況をイラストで可視化し、子供から高齢者、外国人からも分かりやすくしたいと考えました。